

【脊椎脊髄病医への忙中有閑コラム】

BTTF

岐阜県立多治見病院整形外科 高津 哲郎

Back to the Future という映画をご存知の方は多いかと思えます。映画の公開は1985年で、当時私は大学生でした。公開後すぐに映画館へ観に行き、斬新なストーリーに衝撃を受けました。伏線回収も完璧で、後からなるほどね～となるシーンが沢山あり、映画を見終わった後にも楽しい、大好きな映画のひとつになりました。

また、映画の中で使われていた音楽、Huey Lewis & The News の♪The Power of Love や♪Back in Time などもお気に入りです、今でもたまに聴いています。

BTTF のあらすじを対話型 AI に尋ねてみました。

あらすじ (ネタバレ少なめ)

1985年、カリフォルニアに住む高校生マーティ・マクフライは、親友の発明家ドク (エメット・ブラウン博士) が開発したタイムマシンを使って、間違っただけで1955年にタイムトラベルしてしまいます。

このタイムマシンは、スポーツカー「デロリアン」をベースに作られたもので、時速88マイル (約142km) で走ると時間を移動できる仕組みです。

1955年に到着したマーティは、若かりし頃の両親に遭遇しますが、母親がマーティに恋をしてしまい、両親の恋のきっかけが崩れそうに…。そのままだと自分が将来生まれなくなるため、マーティは過去を正し、自分の未来を守るために奔走します。

一方、1955年にはまだ未来の技術 (プルトニウムなど) がなく、現代 (1985年) へ戻るためのエネルギーをどう確保するかも大

きな課題です。

見どころ

ユーモアとスリル満点のストーリー時代を超えた家族・友情・恋愛のテーマ見事な伏線回収とテンポの良い展開デロリアンなど未来的なガジェット

…ふむふむ、そんな感じです

そんな懐かしの Back to the Future が、映画公開から40周年となる2025年に、劇団四季のミュージカルとなって日本に登場しました。

ミュージカルが大好きな家族がチケットを取ってくれたので、公開まだ間もない2025年4月に東京竹芝の四季劇場で観て来ました。劇場内に入るとすぐに BTTF の世界観に包まれます。舞台の上だけでなく、壁など客席全体がサイバー空間、まさにタイムマシーンの中にいるような感覚です。そして開演前に会場内に流れている音楽は1985年あたりの、自分が大学生の頃に流っていた音楽です。あー懐かしい!

舞台が始まるとすぐに映画で見ていたシーンが思い浮かんできます。オリジナル版に非常に忠実で、映画の世界観が裏切られることはありません。それでも時代の変化でしょうか、人種差別的な発言や設定が変更されていたり、ステージ上という制約を逆手に取って?細かい所作が変更されている部分はありますが、むしろ上手いなあ、と感心しました。当然キャストは日本人ですが、オリジナル版の雰囲気や上手に表現し

ています。ひと目見ただけで、あ、この人がジョージ（マーティの父親の若かりし頃）だ！とか、ビフも出てきた～！って感じになります。

第1幕が終わり、幕間（休憩時間）に流れている音楽は、ちょうど舞台上のマーティがタイムトラベルしている1955年あたりの曲です。こういう細かい演出もたまりません。

舞台上という制約があるにも関わらず、デロリアンの疾走感は驚きですし、学生時代に好きだった80年代の曲や懐かしい感じの50年代の曲を生オーケストラで聴けるのも贅沢で、最高です。

映画を初めて見た時の自分の年齢はマーティに近かったわけですが、40年を経た現在の自分はドクの年齢（1985年当時で65歳の設定）に近くなりました。そのせいでしょうか、観劇中は主役のマーティではなく、ドクに感情移入して観ていました。ドクがマーティを助けるために奔走する姿を、現在の自分に勝手に重ね合わせてジーンと来てしまいました。映画のBTTF part III内でのドクの有名なセリフに、“Your future is whatever you make it, so make it a good one.”というものがあり、とても好きな言葉です。私自身、定年まであと数年となり、現在の自分の仕事（使命）は若い先生達の応援だと思っています。そして、そんなドクに感謝して未来へのメッセージを残すマーティの気持ちにも泣けました。年のせいでしょうか、この頃涙腺が緩んでしまい恥ずかしいです…

公演が終わり、♪Back in Timeを聴き

ながら劇場を出る頃には気分ブチ上がり間違いなしです！

ぜひ、もう一回観たいと思いましたが今のところ前売りチケットはかなり先まで完売しています（ちなみに私は1年以上先の2027 (!) 年2月の公演を予約してあります）。将来的に名古屋の四季劇場で観られるようになると良いのですが、すでに東京での延長公演が決まっていますので、もしかするとそのまま東京で数年間のロングランになるかもしれません。

私と同じようにオリジナルの映画版BTTFが好きだった方！、1985年あたりに青春時代を過ごされた方（1955年でも可です）！、「ミュージカルなんて、話している途中に突然歌い出して、小っ恥ずかしいわ!!」なんておっしゃらずに、ぜひご覧になられることをお勧めします！

最後に…

東海脊椎脊髄外科研究会事務局は以前、県立多治見病院内にありましたが、諸事情にて2015年より中部ろうさい病院整形外科内へ移管されました。急な事でしたが、その際には室捷之先生、加藤文彦先生に大変お世話になりました。そして現在の事務局長 伊藤圭吾先生に於かれましてはコロナ禍の中でのweb開催や、電子化などにも取り組まれ、本会の更なる発展に大変寄与されておられ感謝しております。

この場をお借りして御礼を申し上げますとともに、東海脊椎脊髄外科研究会の益々のご発展を祈念して終わりとさせていただきます。